

教室に加湿器が設置され、アジ研も冬支度が着々と進んでいます。

11月に入りアジ研周辺はすっかり秋景色となりましたが、今年は例年に比べ暖かい日が多いように感じられます。それでも、朝夕の冷え込みは日増しに厳しくなっており、気温の急激な変化に体が慣れず、風邪を引いてしまう実習生も少なくありません。11月からは、毎朝の健康チェック時の体温測定を再開させました。また、会話練習の話題も「風邪」をキーワードとしたものを多く取り入れて、実習生の皆さんの健康管理に対する意識の向上に取り組んでいます。

## あじけん日本語講師ファイル

Vol.9: 古口 信子



「あじけん」に来て3年半になります。以前は公立小・中学校に26年間勤務していました。実習生がここで日本語を学び、技能実習へと向かうまでの短い期間ではありますが、「一期一会」の心で指導に当たらせていただいています。世界の人口が70億に達

したということですが、「あじけん」で外国人である実習生と出会う確率は、数字にならないほど「奇跡」に近いのです。その意味からも、出会えたことに感謝し、彼らの存在を尊く思わずにはられません。来日する実習生達の不安を和らげ、心理面でもサポートしていきたいと思っています。

Q1 これまで教えた中でいちばん印象に残っている実習生は？

先日、モハンマド ジョハリさんから手紙が来ました。そこには、3年間の技能実習が修了し、これから帰国の途に着くこと、「日本語能力試験 N4」に合格したこと等が漢字をふんだんに織り交ぜて書かれていました。ジャカルタ行き搭乗直前に、空港から差し出してくれたようです。溶接の仕事しながら、日本語の勉強もずっと続けていたのでしょう。そんな姿にこちらが励まされる思いでした。

Q2 当校の日本語指導において最も大切にしていることは？

教育とは「共育」、教える方も教えられる方も共に育つこと、まさに双方向の生涯学習です。常に自己成長を目指す「内省的日本語教師」でありたいと思っています。

## 今月の実習生(番外編)



インドネシア出身

EKA ERIKSON さん (エカさん)

今月は番外編として、アジ研で介護福祉士の国家試験受験対策講座を受講しているエカ・エリクソンさんをご紹介します。

エカさんは3年前に EPA 介護福祉士候補者として来日し、茨城県石岡市にある特別養護老人ホーム「やさと」において、介護福祉士としての研修を受けています。その研修の合間を縫って、毎月1週間～2週間、アジ研の寮に泊り込んでの集中試験対策講座を受講しています。研修期間修了後、正式に介護福祉士として日本で働くためには、来年1月末に行なわれる国家試験に合格しなければならず、試験対策もいよいよ最後の追い込みに入ってきたところです。

スタッフ一同、エカさんの試験合格を願っています。エカさん、頑張ってください。

授業はマンツーマンのプライベートレッスンで行なわれています。



# あじけん流日本語授業 ～1分間スピーチ～

今月は、本校が積極的に取り入れている「学習者中心の学習活動」の1つである「1分間スピーチ」をご紹介します。スピーチ活動と聞くと、一般的には個人的な学習活動と考えられがちですが、本校ではこの「1分間スピーチ」を、グループディスカッションの一種と位置づけています。

この活動では、まず各グループに①スピーチ係り②司会係り③記録・報告係りの3つの係りを割り振ります。その後、各グループ内で、「スピーチ係りによる1分間スピーチ」→「司会係りを中心としたグループディスカッション」へと進んでいきます。そして、最後に、各グループの記録・報告係りが、自分達のグループのディスカッションの内容をクラス全体にレポートします。

なお、この活動には高い表現力（語彙力と語彙の運用力）が求められるため、基礎力が十分に備わっている実習生の皆さんを対象として行なわれています。また、多くの学習者に発話のチャンスを与えることが出来るため大人数クラスにおいて特に効果を発揮しています。

**STEP 1**：スピーチ係りは、先生からスピーチの題をもらい、1分間で発表内容をまとめます。



**STEP 2**：各グループに戻って1分間スピーチを行ないます。



**STEP 3**：司会係りを中心にスピーチ内容についてグループ内でディスカッションします。



**STEP 4**：最後は各グループの記録・報告係りによるディスカッションの内容を報告します。

